

豊中市病院事業業務状況の公表

豊中市病院事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第47号）第9条の規定による令和2年10月1日から令和3年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

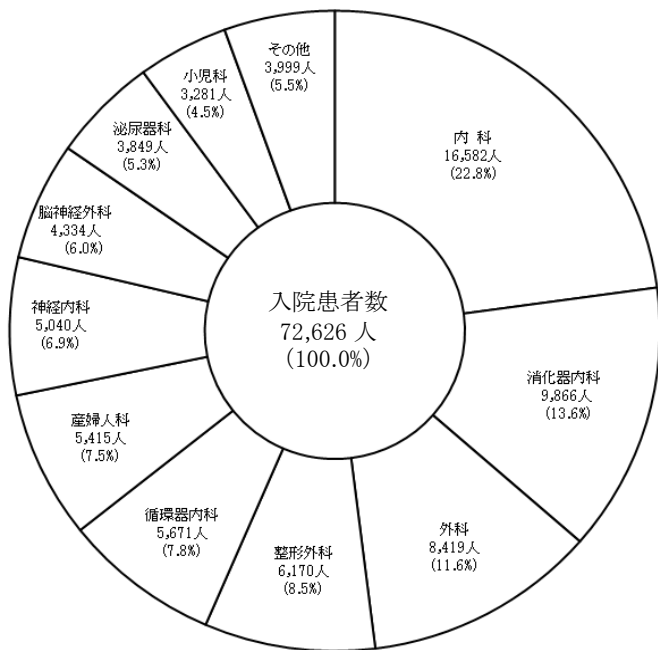
令和3年6月1日

豊中市長 長内 繁樹

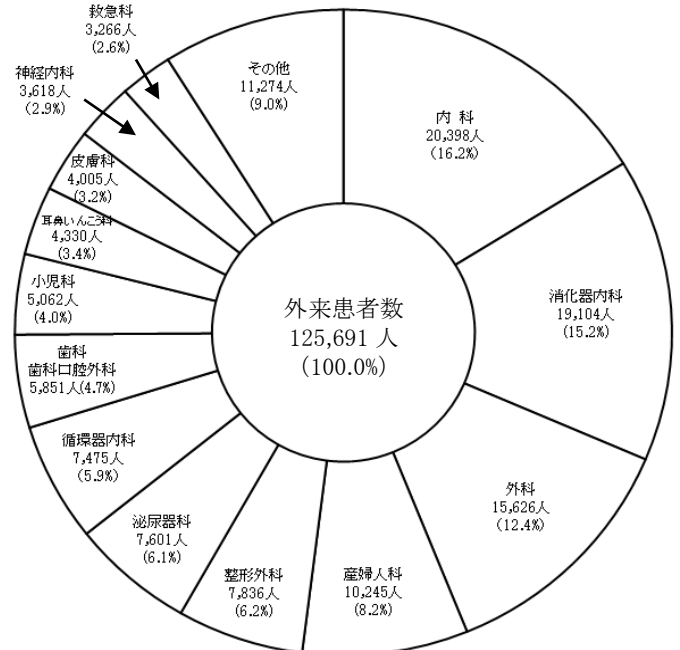
令和3年（2021年）3月31日現在

病床数	613床	
一般病床	599床	
感染症病床	14床	
(令和2年10月1日～令和3年3月31日)		
患者数	198,317人	
入院患者数	72,626人	(一日平均 397人)
外来患者数	125,691人	(一日平均 1,039人)

科別入院患者数



科別外来患者数

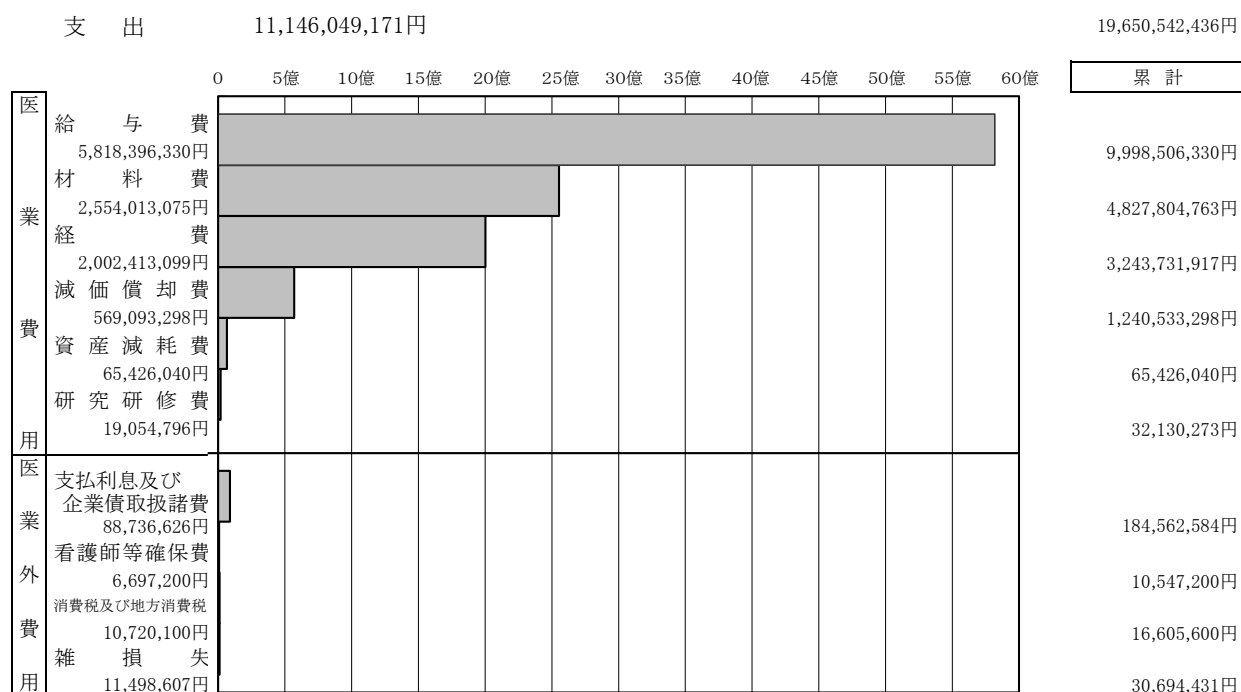
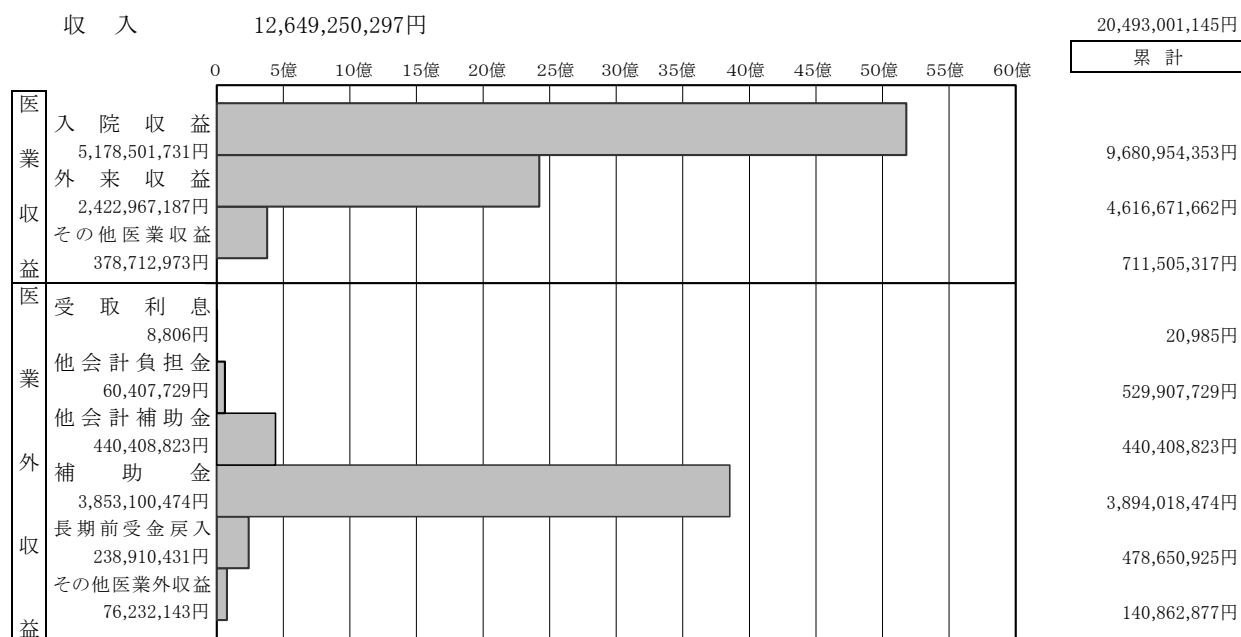


診療業務件数

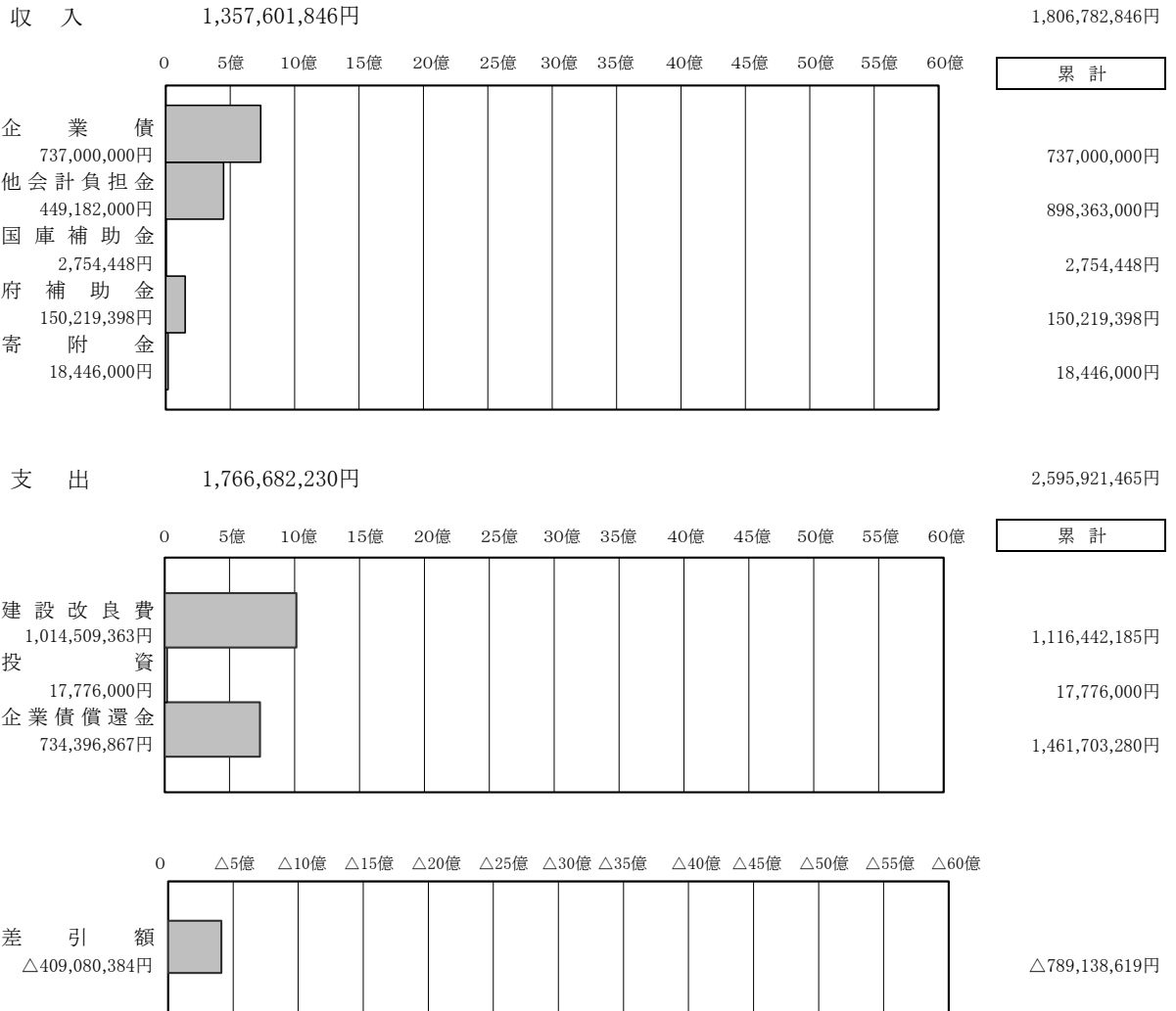
レントゲン業務	62,832件
検査業務	1,503,474件
手術業務	2,262件
分娩業務	283件

令和2年度(2020年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

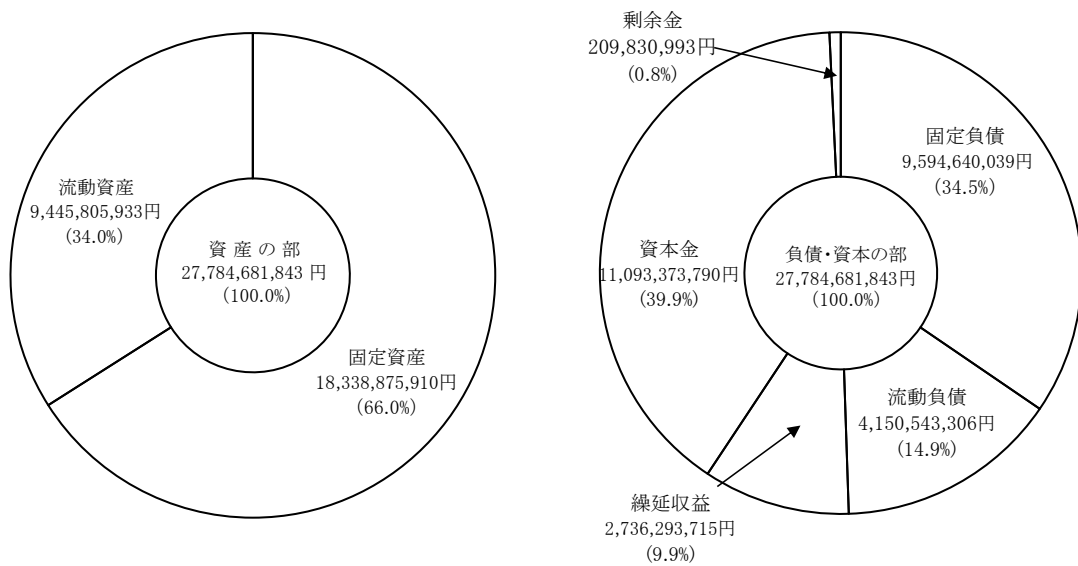
収益的収支



資本的収支



貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き)
[令和3年(2021年)3月31日現在]

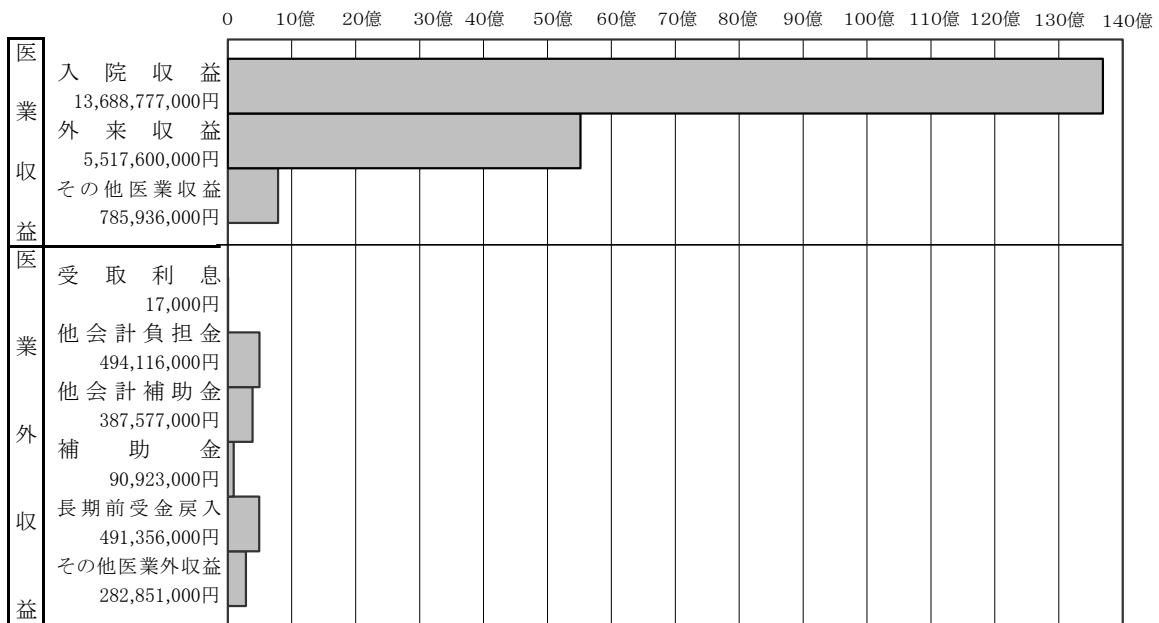


企業債現在高 9,361,761,091円
一時借入金現在高 0円

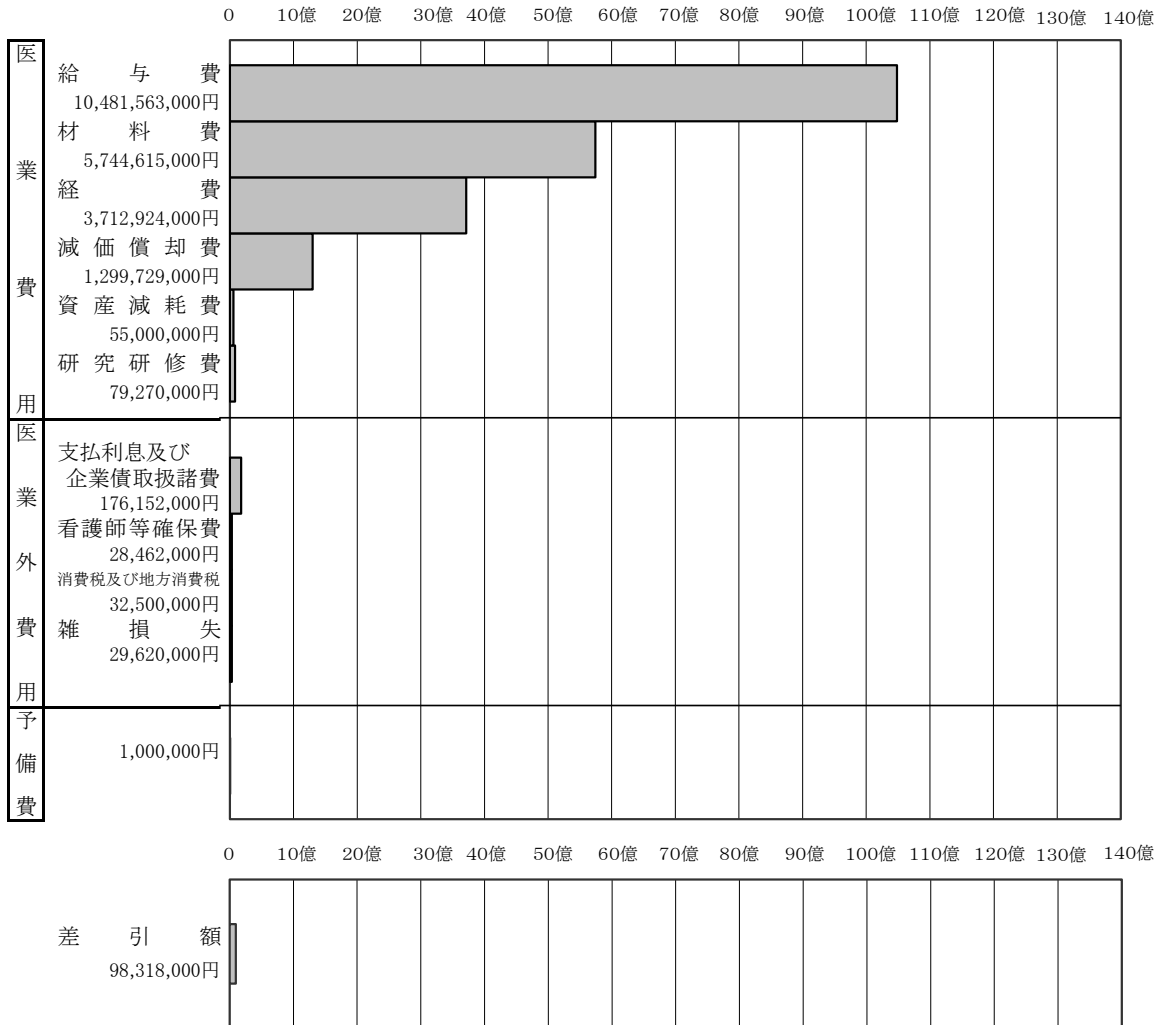
令和3年度(2021年度)予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 21,739,153,000円

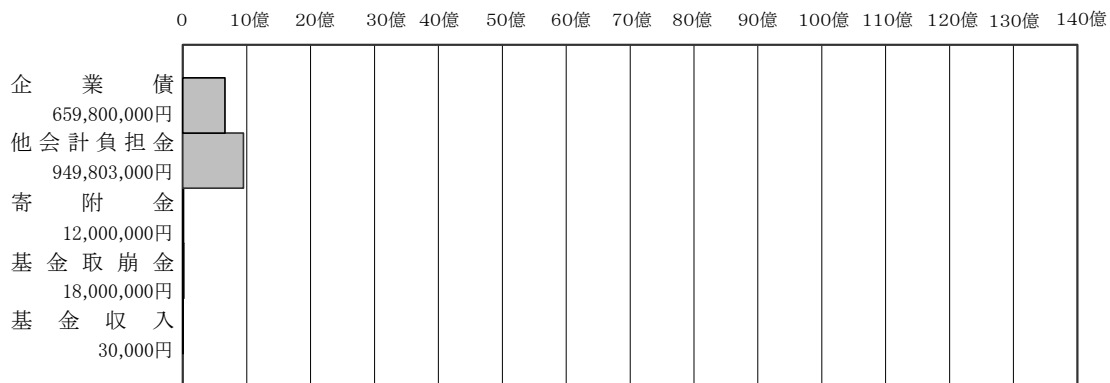


支出 21,640,835,000円

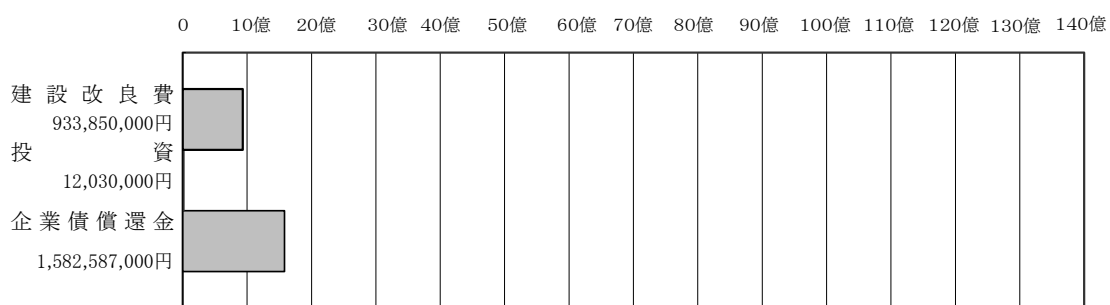


資本的収支

収入 1,639,633,000円



支出 2,528,467,000円



令和3年度経営方針

当院は、感染症指定医療機関として、令和2年2月のクルーズ船陽性患者の受入れを契機として、これまで645人(令和3年5月末時点)の新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行ってきました。現在も大阪府の要請を受け、陽性患者受入れのための専用病床を確保するなど、公立病院としての役割を果たすため、必要な診療体制を整えているところです。

令和2年度決算においては、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ体制確保のため一般診療病棟を縮小したことにより、入院収益が例年より大幅に減少しましたが、国・府による財政支援によって黒字決算となる見込みです。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行による医業収益の減収が続き、病院経営は予断を許さない状況が継続するものと想定されます。

しかしながら、感染流行の動向に応じた弾力的な診療体制の見直しを行い、経費の削減と業務の整理・効率化に取り組むことで、病院機能に応じた医療提供と医業収益の回復に努め、安定した経営による病院運営をめざしてまいります。

《令和3年度の主な取り組み》

- 新型コロナウイルス感染症対策
がん診療や救急医療など、必要な地域医療を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染状況(フェーズ1～4)に応じた患者の受入れに取り組みます。
- 医療的ケア児支援事業の安定的かつ継続的な運営
市立小・中学校において、日常的に医療的ケアを必要とする児童・生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう、継続的に看護師を派遣します。
- がんゲノム医療の実施
がんゲノム医療の実施に向けた体制の整備を行います。
- 「(仮称)市立豊中病院運営計画新プラン」の策定
国の地域医療構想や新型コロナウイルス感染症により影響を受ける医療政策・医療環境の変化を踏まえ、現行の「市立豊中病院運営計画」及び「市立豊中病院運営計画実施計画」(計画期間:平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度))を見直し、新たな計画の策定と効率的な進捗管理による経営改善をめざします。